



■ 連合鳥取2025春季生活闘争 特集 ■

要求状況

【2025.3.19現在集計】

1. 賃金要求提出状況

※昨年同時期(2024.3.21)と比較

登録組合数	2025春闘: 57組合		2024春闘: 44組合		◆提出せず	2025春闘	2024春闘	◆人勸準拠	2025春闘	2024春闘	◆組合員の賃金実態把握	2025春闘	2024春闘
	2025春闘 (2025.3.19)		2024春闘 (2024.3.21)		体系維持分を確保	組合数	2	0	組合数	0	0	把握している	47
	【賃金関係】 調査対象: 102組合		【賃金関係】 調査対象: 106組合		組合員	397	0	組合員	0	0	把握していない	5	
◆提出した	平均方式	個別方式	合計	平均方式	個別方式	合計	◆未提出	2025春闘	2024春闘	◆ストライキ権			
組合数	47	8	55	34	9	43	組合数	0	1	確立している	15	確立していない	34
組合員	7,631	1,345	8,976	6,246	1,807	8,053	組合員	0	20				

2. 要求状況 ※平均賃上げ方式 (体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上げ方式	2025春闘 (2025.3.19)								2024春闘 (2024.3.21)								昨年対比	
	組合数	組合員数	体系維持分額		賃金改善分額		合計		組合数	組合員数	体系維持分額		賃金改善分額		合計		額	率
			額	率	額	率	額	率			額	率						
従業員 計	40	5,894	4,120	13.847	17,436	6.84		25	4,375	4,340	10.654	15,169	6.08	2,267	0.76			
300人以上	10	3,553	4,612	13.218	17,172	6.61		9	2,976	4,725	11.146	15,993	6.34	1,179	0.27			
299~100人	14	1,870	3,499	14.594	18,093	7.13		9	1,193	3,520	9.541	13,231	5.45	4,862	1.68			
99人以下	16	471	3,748	14.613	16,759	7.13		7	206	3,415	10.045	14,678	5.55	2,081	1.58			

連合鳥取は、「2025春季生活闘争方針」で、要求提出は3月上旬まで、遅くとも3月末までを基本として取り組みを進めてきました。要求状況と今後の取り組みは左記のとおりです。

■要求状況(3月19日現在)

対象民間組合102組合のうち、57組合が要求を提出しました。鳥取県においても、物価上昇分の確保にとどまらず、継続的な「人への投資」と慢性デフレに終止符を打ち、動き始めた賃金、経済、物価を安定した巡行軌道に乗せるべく、積極的な要求を行っています。

賃金要求を提出した55組合のうち37組合が定期昇給と賃金改善分を合わせた平均賃上げ方式で要求し、その要求額(加重平均)は、17,436円(6.84%)【昨年同時期15,169円(6.08%)】でした。これは1993年の最終集計要求額18,415円(7.74%)に迫る32年ぶりの要求水準となります。

このうち、従業員100人(299人)の組合で18,093円(7.13%)、99人以下組合においても16,759円(7.13%)と高い要求が掲げられました。これは300人以上組合の要求17,172円(6.61%)を大幅に上回っています。連合鳥取が

春闘方針で掲げた「地域間・企業規模間」格差解消への強い決意が表れています。

■今後の取り組みについて

現時点で要求未提出の組合においても、企業状況を注視しつつ必ず要求書を提出し、正規労働者、有期・短時間・派遣等労働者、組織・未組織を問わず、すべての働く者の「底上げ」「底支え」「格差是正」をめざした取り組みを進め、月例賃金の継続的な引き上げと働きがいの向上にこだわった粘り強い交渉を行います。加えて、未組織労働者を含むすべての働く者へ波及させるために、情報開示と共有を積極的に行ってまいります。



第96回メーデーポスター図案コンクール
最優秀賞 大山葵生さんの作品
(自治労・茅ヶ崎市職員労働組合・組合員の家族)

4月26日(土) みんなで参加しよう! 第96回鳥取県メーデー大会

“献血・フードドライブ・エコキャップ回収”にもご協力ください

4ページ参照

東・中・西部地協「春闘勝利総決起集会」同時開催で氣勢を上げる！

足元に雪の残る2月27日(木)、連合鳥取は県内3会場に組合員や退職者連合会員、推薦議員の約1,300人が結集し「2025春季生活闘争勝利総決起集会」を開催しました。

各会場とも地域協議会議長による主催者あいさつに続き、山口一樹会長(西部)、森由香里副会長(中部)、北畑仁史副会長(東部)や推薦議員のみなさんから激励のあいさつをいただき、産別・単組の決意表明、「組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘い抜こう！」との集会アピールの採択を行いました。最後に、参加者全員で「団結がんばろう！」を三唱しました。

集会終了後には、各会場ともシュプレヒコールをしながら行進し、市民のみなさんに訴えました。

東部地協 JR鳥取駅前風紋広場：約600人

写真右／
湖山美議長代行あいさつ



〈産別決意表明〉
情報労連：飯塚真吾さん



〈集会アピール提案〉
自治労：井上大輔さん

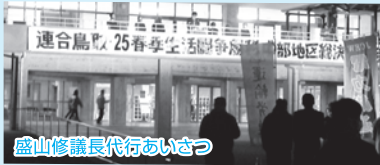


団結してがんばろう！



デモ行進で
市民に訴える

中部地協 倉吉体育文化会館：約300人



盛山修議長代行あいさつ



会場の様子

〈単組決意表明〉 UAゼンセン：杉島和徳さん
〈集会アピール提案〉 交通労連：山下昌規さん

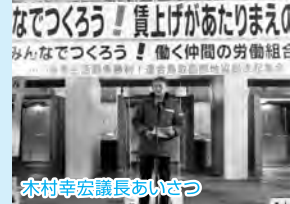


団結してがんばろう！



シュプレヒコール
しながらのデモ行進

西部地協 米子市公会堂前庭：約400人



本村幸宏議長あいさつ



〈単組決意表明〉
米子製鋼労組：
柳瀬昌広さん



〈集会アピール提案〉
青女フォーラム：
鈴木裕太幹事



団結してがんばろう！



会場の様子



寒い中の
デモ行進
お疲れさま
でした!!!

すべての労働組合で春闘に取り組もう！！ 今年も公務部門春闘カンパ ありがとうございました！

3月13日(木)、自治労、日教組、全水道から、また別日に国公総連から春闘カンパ金(合計330,000円)を寄付していただきました。

このカンパ金は、毎年、公務員関係の労働組合から民間中小地場労働組合の春闘勝利に向けお寄せいただいているものです。

活用方法については、執行委員会(闘争委員会)で検討します。

3月13日受取の様子

写真左から／

山口一樹連合鳥取会長

山本昌明鳥取支部委員長(全水道)

細砂直執行委員長(日教組)

三浦敏樹執行委員長(自治労)

※国公総連は上田陽子議長がお届けくださいました



賃上げ要求32年ぶり高水準！ ー要求集計初めてマスコミ発表ー

3月18日(火)、連合鳥取は地場37組合(2025.3.14時点)の要求集計を県政記者室で会見を行いました。このタイミングでの発表は初めてです。

要求額の加重平均は17,436円(6.84%)で昨年の15,169円(6.08%)を上回る要求になっています。

大手組合の集中回答を受け、中小・地場組合の交渉が本格化する中、すべての労働者へ波及させるため地域春闘に取り組んでいきます。



一人ひとりのパワーを結集! ~社会を変える取り組みの加速へ~ —女性委員会「3.8国際女性デー」行動を実施—



“2025春季生活闘争勝利総決起集会”でアピール行動を実施

2月27日(木)、東部・中部・西部地域で行われた「2025春闘勝利総決起集会」と連携して、集会内で、女性委員会役員が「3.8国際女性デー アピール(案)」を読み上げ、参加者全員で採択されました。

■集会会場でアピール案を読み上げて提案

東部/西村晴子幹事(JR連合) 中部/向井 彩幹事(JAM)
西部/下田真理子幹事(JP労組)

東部会場



西部会場



未来を動かす、女性たちの声を力に —「学習会」を開催—

3月8日(土)、とりぎん文化会館において「3.8国際女性デー学習会」を開催し、75人(女性48人、男性27人)が参加しました。

冒頭、小谷くみこ委員長は「教育・労働市場・政治参加など様々な場面で女性が平等な機会を持つようにすることが『国際女性デー』の大きな目的の一つです。単なる記念日で終わるのではなく、過去の歴史や現在の課題に向かい、より良い社会を築くための大切な日として私たち一人ひとりができることを考えていきましょう」とあいさつしました。続いて、連合鳥取の山口一樹会長から「処遇改善はもちろん、ジェンダー平等、多様性の推進に向けてともがんばりましょう」と激励のあいさつがありました。

【学習会】 講演 「選択的夫婦別姓と国連委員会の活動について」

講師/鳥取県議会議員 尾崎おるさん

グループに分かれ、日本・世界の夫婦別姓についての歴史など、クイズを解きながら楽しく学びました。そしてご自身や友人の経験を交えて、「選択的夫婦別姓がなぜ必要なのか」を3つの項目(右参照)にそって講演されました。

最後に、国連の女性差別撤廃委員会での勧告内容について話を伺いました。

【アピール採択&アピール行動】

参加者全員でアピール行動

学習会の最後には、「性別・年齢・国籍・障がいの有無・就労形態などにかかわらず、誰もが多様性を認め合い、互いに支え合う、公正な職場・社会を実現していきましょう」と訴えるアピールを採択し、参加者全員によるアピール行動を行い、和やかな雰囲気の下、閉会しました。

【PR街宣活動】

学習会前には、青年委員会のみなさんにもご協力をお願いし、イオン鳥取店入口で、【3.8 国際女性デー メモ帳】と【デフレマインドを洗い流そう!ベアスポンジ】を来店のみなさんに配布し、「3.8 国際女性デー」の取り組みについてPRを行いました。



街宣の様子

連合鳥取ホームページ「女性委員会NEWS No.11」で紹介

(寄稿 女性委員会幹事 向井彩さん)

立憲民主党・野田佳彦代表来鳥!

—連合鳥取四役との意見交換会を開催—



写真前列左より/北畑仁史副会長
山口一樹会長 野田佳彦代表 森 由香里副会長 細砂 直副会長
写真後列左より/寺田真里副事務局長 山崎 睦副会長 河村正之事務局長
松本善樹副事務局長 藤縄和彦副事務局長 山下浩二副事務局長

3月20日(木・祝)、連合鳥取四役と立憲民主党「野田佳彦」代表との意見交換会を倉吉シティホテル(倉吉市)にて行いました。少数与党になり国会審議のあり方も変わりつつある中、山口会長をはじめとする役員は、野田代表へ多岐にわたり率直な意見をぶつけました。



意見交換会の様子

野田代表は一つひとつ丁寧に現状や動向について説明され、次期参議院議員選挙の鳥取県・鳥根県合区選挙区の候補者についても4月中旬には擁立する考えを示されました。とても有意義な意見交換ができました。

中部地協発

野田佳彦代表講師の「若者・女性・だれでもとっとり りっけん講演会」に参加

野田佳彦代表を講師に迎えた講演会が開催され、約240人(うち中部地協30人)が参加しました。

野田代表は「政権を変えて社会を変える。そしてお金の使い方を変える。立憲民主党は税金を国民の生活を支えるために使うべきだと考えている。教育、医療、福祉、そして災害復興支援にこそ優先的に資金を投入するべきだ」と力強く語られました。

また、石破茂首相の商品券配布問題についても触れ、「かつて自民党内で“ミスター政治改革”として尊敬していた石破首相だが、今回の件には大いに失望した」と厳しい批判を展開しました。

本講演で、現政権の政策に対する明確な対抗姿勢を示すとともに、立憲民主党がめざす社会像を力強く訴え、参加者に大きな共感を与えました。



講演会の様子

Information ※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。 開催日 **4/26** (土)

一緒に働く職場の仲間、ご家族・ご友人 誘いあって参加しよう! 第96回鳥取県メーデー大会

メインスローガン 「次代につなぐ 平和の願い! みんなでつろう 支え合う安心社会と確かな未来を!」

地域	中央大会 (西部) / 1,500人規模	東部地域大会 / 2,000人規模	中部地域大会 / 1,000人規模
時間	・デモ行進スタート 9時30分～ ※集合/米子市公会堂前庭 ・式典開会 10時30分～	・オープニングイベント 10時00分～ ・式典開会 10時20分～ ・デモ行進出発 11時35分～	・オープニングイベント 9時30分～ ・式典開会 10時00分～ ・デモ行進出発 11時20分～
式典場所	JR米子駅前「だんだん広場」	とりぎん文化会館「梨花ホール」	エースバック未来中心「大ホール」
式典内容	(基本) ①開会宣言 ②主催者あいさつ ③来賓あいさつ ④来賓紹介 ⑥メーデースローガン確認 ⑦メーデー宣言採択 ⑧団結がんばろう ⑤祝電・メッセージ紹介 ⑨閉会あいさつ		
イベント	▶オープニングイベント がいな太鼓(予定) ▶プラカードコンテスト ▶大抽選会 ▶子どもに風船プレゼント <展示> ▶震災復興パネル展 <出店> ▶障がい福祉作業所物販 ▶構成組織物販	▶オープニングイベント よさこい踊り よさこいチーム 桜道里 ▶プラカードコンクール ▶参加者全員にお茶プレゼント ▶お楽しみ抽選会 ▶被災地復興支援の取り組み	▶オープニングイベント(予定) ▶お楽しみ抽選会 ▶プラカードコンクール ▶産別・単組協力コーナー ▶子どもにお菓子プレゼント ▶参加者へ白バラシュークリームプレゼント ▶被災地復興支援の取り組み
デモ行進	・米子市公会堂～ 米子駅前だんだん広場	・メーデー会場(とりぎん文化会館)～ JR鳥取駅前(花時計前)	(周回コース予定)・未来中心～R179下田 中町交差点～ローソン下田中交差点～丸合 倉吉東町交差点～県美交差点～未来中心
その他	①メーデー精神継承資料の配布(プログラム掲載) ②「エコキャップ回収BOX」の設置 ③狭山事件の再審を求める運動チラシ配布 ④「フードドライブ」特設ブースの設置(地協を通じてチラシを各単組へ配布) ⑤ワークルールクイズ解答用紙回収BOXの設置 ※「メーデー献血」:各地域協議会より要請します。		

“ザ・議員”

さかの けいさぶろう
坂野 経三郎 鳥取県議会議員

カスタマーハラスメントは、深刻です。
現場の状況を知るために、北畑支部長(UAぜんセン)に数多くの県内労組(事業所)をご案内いただき、その状況にショックを受けました。
お客様から「土下座を強いられた」、「直立不動で2時間叱責された」などの耳を疑うお話に胸を痛め、改善を決意しました。条例制定に向け動いている北海道や東京都へ出向き、調査研究を実施しました。昨年6月議会の本会議場で平井伸治知事に対し、全国に先駆けたカスハラ条例制定を働きかけ、現在も連合鳥取とカスハラについて取り組んでいます。

今後も連合鳥取の組合員のみなさまにおかれましては、県への要望やお困りごとなど、どんな内容でも結構です。お話を聞かせてください。

連合鳥取東部地協2025春季生活闘争勝利総決起集会(2025.2.27)に参加
左/坂野県議会議員



あだち たかし
安達 卓是 米子市議会議員

太陽光発電のリサイクル化の取り組みについて
身の回りの耕作放棄地、空き地、そして新築家屋の屋根で太陽光発電施設を多く見ることとなり、パネルの寿命が近づくと感じていたところ、新聞報道によると太陽光パネル等のリサイクル施設が不足との記事があったので、現況についてどのようになっているか議会質問をしました。

担当部長は「環境省が太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドラインを作成している。リサイクルの義務化は、現在されていない。今後、太陽光パネルの大量廃棄が想定されるので、国ではリサイクルの義務化や適正に再資源化できる体制構築に向けた制度の検討をしている」という
答弁でした。

未来につながる課題として、今後も注視していきたいと思っておりますので、ご意見をお寄せください。



「春」という言葉の語源には諸説あるが、草木の芽が「張る」季節だからともいわれている。桜のつぼみもほころび、川土手に並木は今年も変わらずに咲き誇っていることだろう▼この時期は新しい財布を使い始める時でもある▼とされている時期でもある。「春」と財布が「張る」という言葉をかけ、金運上昇の縁起を担いながらも、新しい財布は数日間自宅で寝かせ、桜が散り始める前に使い始めるのがよいのだそう▼2025春闘は大手企業の集中回答を終え、第2回マ相場を越えた。第2回回答集計の結果は平均5.4%と昨年を上回る。雇用の7割を占める中小企業においては5%を割り込んだものの、昨年を上回る水準となった▼さらなる格差是正に向けてサプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配や円滑な価格転嫁などを取り組む強化に向けた取組ならぬ。今後は地場中小企業の春闘が本格化する。皆さんの財布がパンパンに張り、我々も胸を張れる結果にしたものだ。

てんてんてんてん

